

【電子ブックの利用について】

主な電子ブックは次のとおりです。

- Maruzen eBook Library （学術誌から一般誌まで幅広く所蔵 14,000点以上）
- Kino Den （電子書籍化したシラバス及び参考書を順次所蔵予定）

電子ブックは図書館HPの「データベース・電子書籍」から入ります。



←こちらから入れます

学内で愛知学院大学のwifi設定をしている方は、すぐに利用できます。

未設定の方は次のQRコードから手続きしてください。



←本学情報推進部HP内wifi接続方法

学外からの利用は、下表のとおりとなります。

eBook	認証方法	VPN接続（※2）
Maruzen eBook Library	ログインパスワードが必要（※1）	可能
Kino Den	—	可能

※1…2021年7月末までは、大学共通ID及びパスワードで利用可能（4/7のweb campus参照）

2021年8月以降は、Maruzen eBook Library専用のリモート手続きが必要です

リモート手続き方法は、Maruzen eBook Library備考欄からのリンクを参照してください。

『###@g.agu.ac.jp』のメールアドレスが必要です。

※2…VPN接続（Virtual Private Network）の手続き方法は次のとおりです



←本学情報推進部HP内VPN接続方法

電子ブックには、事典、辞典、図鑑、英語多読本、資格、動画などのコンテンツが豊富に取り揃えていますので、大いに活用してください。

【電子ブック : Maruzen eBook Libraryの英語多読系について】

電子ブックの英語多読本を検索しやすいよう、専用のページをつくりました。

多読本コーナー(日進新館2階)にも案内掲示をしていますので、是非ご活用ください。



←英語多読系リスト

【SDGs特集について】

日進新館1階では、SDGsの特設コーナーを設けています。

SDGsに関連する書籍、視聴覚資料の他、電子ブック(Maruzen eBook Library)の電子リソースの案内もしています。



←SDGsに関連する電子ブック

【電子ブック : Kino Denについて】

紀伊國屋書店が展開する電子ブック「Kino Den」の取扱いを開始しました。

このKino Denでは、電子書籍化したシラバスとそれに関連する資料を収めています。

収蔵数は2021年4月時点で少ないですが今後は増えていく予定です。

編集後記 : 図書館は、利用者から目に見える部分が少なく、多くの図書は書庫にあります。今回紹介した電子ブックの他、電子ジャーナルやデータベースなどの電子リソースも本とは違って形として見えません。図書館側からすると、この目に見えない資料をどのように利用者へアピールできるかが利用促進への鍵となっています。今後は、QRコードが館内で見かけることが増えていきますので、気になったタイトルがあれば、スマートフォンで読み込みしてください。また、資料検索はOPAC（蔵書検索端末）が基本です。OPACでは、データベースを除く全ての種類の資料が表示されますので、ご活用ください。 **【事務長 田島】**